

令和6年度 第1回大野市公共交通活性化協議会

議事録概要

○日 時：令和6年6月21日（金）10：00～11：00

○場 所：結とびあ 302 号室

◆次 第

1 開会

会長、副会長及び監事の選出

2 報告事項

（1）大野市の公共交通について

概要：事務局から資料2について説明

意見なし

（2）令和5年度公共交通の利用実績について

概要：事務局から、資料3－1及び3－2について説明

意見：資料3－2でまちなか循環バスの実績が増加しているということであるが、新幹線開業効果について触れていたが根拠はあるか。

事務局：市内の観光施設においては5月の連休辺りまでは増加している。

意見：アフターコロナの影響の可能性もあると考える。新幹線の開業効果であると捉える根拠は。

事務局：新幹線開業効果という言葉は出したが検証まではできていない。今後分析し、ご紹介したい。

意見：バスの運転手をしており、観光客が増えている実感はある。ボンネットバスの問い合わせがあるなど、土日の増加の原因になっている。お客様の声を含め、肌感覚で増加している。

意見：乗合タクシーに関して、利用者の増減は、1回当たりの乗車人数によるものか、運行回数によるものか。

事務局：資料3－2の2ページに1日当たりの利用者の推移と、1便当たりの利用者の推移をまとめている。増減はあるものの、全体として減少傾向。利用者の実数が少ないので、傾向として捉えづらい。（ヘビーユーザー1名の有無により左右されるような数字である）

意見：昨年度からの変更点で言えば、土曜日の運行をやめたことにより、月に4日から5日運行日が減っている。そのなかで、会員登録によりドアツードアを実現できるようなサービスの向上を図っている。8割の常連に対し、新規利用者を増やすために周知を進めたい。また、タクシー利用助成券の利用は増えている。乗合タクシーの利用は減っているが、タクシーの利用は増えている。

意見：資料3－2、和泉大野線の合計の数字が違う。和泉地区における利用の仕方が大幅に変わった。最初は、乗り方が分からないという住民が多いなか、丁寧に説明をし

ながら少しずつ利用は増えてきている。越前大野駅からの観光利用者は増えているが、荒島岳登山者から荒島岳までの交通手段がなく、お叱りを受けることがある。また、和泉大野線はスクールバスの要素が大きく、一般の方から利用していいものか迷うという声や、学校開講日のみに運行する便があり、これから夏休みということもあり、説明に困っている部分がある。そこがクリアになってくるとさらに利用も増えるのではと考えている。

意見：インフラを整備してもらっているのに、高齢者がこの情報を知らない。老人クラブの研修会など集まりの際にでも説明会を開いてほしい。

事務局：公民館の集まりなど、説明させてもらう機会があれば積極的に伺いたい。

(3) 第三者委員会による二次評価の結果について

概要：事務局から資料4について説明

意見なし

3 議題

(1) 令和5年度事業報告、収支決算報告及び会計監査報告について

概要：事務局から令和5年度事業報告及び収支決算報告並びに監事から会計監査報告

意見なし

結果：承認

(2) 令和6年度事業計画について

概要：事務局から、令和6年度事業計画について説明

意見なし

結果：承認

(3) 令和7年度（R6.10～R7.9）地域公共交通確保維持改善事業について

概要：事務局から、令和7年度（R6.10～R7.9）地域公共交通確保維持改善事業について資料7、資料7-1に基づき説明

意見：①別紙5の事業の目標に関して、乗合タクシーの利用者数について、定時便を除いているのはなぜか

②収支率の目標について、和泉大野線・和泉乗合バスについて、通学利用を除くと収支率は出せるのか

③令和6年度の協議会の実施事業として地域公共交通計画の実施に関することがあるが、目標達成のための事業及び実施主体として協議会が出てこないのは整合性が取れていないのでは

事務局：①定時便は令和6年度から運行していないので修正する。

②通学利用か一般利用かは集計可能

③協議会設置要綱第2条には、当協議会の所掌事務として、協議や調整が規定さ

れている。ただし、協議会が主体となることで、記載すべきものがあれば運輸支局に相談しながら記載したい。

結果：承認

4 その他

○街路樹や停止線に関しての要望

5 閉会